

おかいせき
岡遺跡

第1・2次調査

成果報告資料

つしはくさんちょうにほんぎ
～津市白山町二本木～

2022 (令和4) 年3月

みえけんまいぞうぶんかざい
三重県埋蔵文化財センター



第1次調査 (北から撮影)

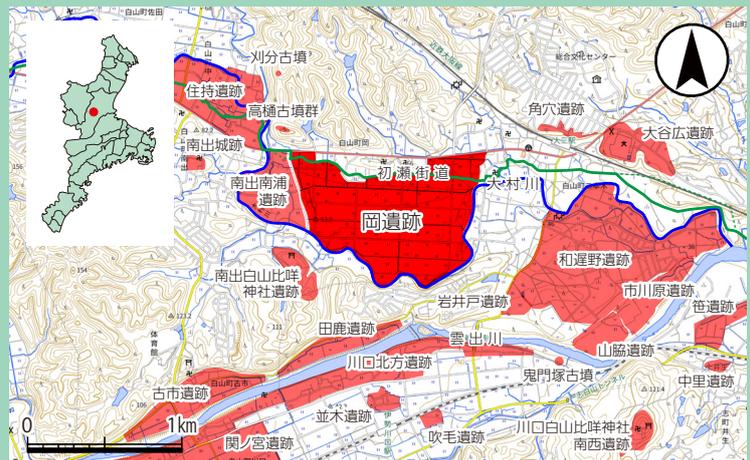
【第1次調査成果概要】

調査期間：2020年4月～8月

調査面積：815m²

出土遺物：縄文土器、石器、サヌカイト片、山茶椀

調査概要：住居跡はないものの、焼土痕や石器および加工によるサヌカイト片、縄文土器の出土から周辺域における人間の活動が推察できる。そのほか、谷状の落ち込みの発見により、大村川周辺の旧地形把握のためのデータを得ることができた。



遺跡位置図 国土地理院電子地図に加筆



第2次調査（4区:北から撮影）

【第2次調査成果概要】

調査期間：2021年6月～11月

調査面積：1515㎡

出土遺物：縄文土器、弥生土器、土師器、灰釉陶器、瓦器椀、山茶椀

調査概要：大村川から離れた微高地に柱穴などの遺構が集中していること、出土遺物が平安時代の終わりから鎌倉時代のはじめごろまでにおさまるので、中世期の津市白山町二本木周辺の人々は、この微高地に建て替えを繰り返しながら生活していたと考えられる。初瀬街道沿いでは井戸や鉄滓がみつき、街道周辺における生活の一端を明らかにすることができた。



調査区位置図：国土地理院電子地図に加筆
※茶線部は現状の初瀬街道

【用語解説】

縄文土器（じょうもんどぎ）

縄目の文様（縄文）が特徴のひとつだが、教科書などで有名な火焰土器は粘土紐等で立体的に装飾するなど多様性がある。岡遺跡出土品は中期末から後期はじめのもの。中期末ごろと考えられるものには凹凸のある装飾の破片がある。後期はじめごろと考えられるものには外面を沈線（凹線）で区画し、縄文をほどこす部分と丁寧なナデやミガキ調整で縄文を磨り消した部分が明瞭な破片が出土している。

石器（せっき）

石でできた道具。石を打ち欠いて作成するもの（打製石器）と、石を磨いて作成するもの（磨製石器）に分類できる。岡遺跡出土品（敲石・台石を除く）は石鏃や削器などの打製石器。

サヌカイト

岩石の種類のうち、安山岩に分類される。別名を讃岐石。名の由来でもある讃岐、香川県で産出するが、三重県周辺の産地は奈良県・大阪府の府県境の二上山が有名。おそらく岡遺跡出土品は、二上山のもの。

土師器（はじき）

手捻りで作成する野焼き製法の土器。見た目が赤褐色～明黄褐色系なのが特徴のひとつ。弥生土器以来の製法を継続したものと考えられている。

須恵器（すえき）

主に手回しロクロを使用して作成し、窯焼き製法の土器のこと。よく焼けているものは指で弾くと金属音がする。見た目は灰白色～暗青灰色系。古墳時代ごろから登場する土器。

灰釉陶器（かいゆうとうぎ）

平安時代ごろに須恵器に代わって登場する土器。植物灰による釉薬が付着した、あるいは付着しているのが特徴。時代が新しくなるにつれて、山茶碗と呼ばれる焼き物へ変化していく。

瓦器（がき）

平安時代ごろの土器。炭素を吸着させ、内外とも黒くなっている。内外には、棒状のもので磨いた痕跡（内面：暗文・外面：ミガキ）がある。畿内～伊賀地域が主な出土地域。

山茶碗（やまちゃわん）

灰釉陶器を前身とする土器。灰釉陶器と異なり釉薬を使用せず、土器に使用する土の粒子が粗くなる。主に東海地域の平安時代の終わりから中世ごろの遺跡で出土する。

鉄滓（てっさい）

鉄の材料である鉄鉱石から、鉄を取り出した時などに残る鉄以外の物質の塊。分析することによって、その時代の製鉄技術などを知るための情報を得ることができる。

遺物包含層（いぶつほうがんそう）

遺物を含んでいる層。この層の下に遺構があるため、調査ではこの層を見極めていくのが重要になる。

風倒木痕（ふうとうぼくあと）

倒木の痕跡。まわりと土の重なり方が異なっている状態でみつかると、一部しか見えていないと、違う遺構（例：溝など）と間違えることもあるので注意が必要。

柱穴（はしらあな）

掘立柱建物および柵・塀など建築物の遺構。ときおり柱が腐らずに残った状態で出土する。柱穴は遺物がみつかることが少ないので、建物の年代を決めるのが難しい。

初瀬街道（はせかいどう）

奈良県桜井市初瀬から三重県松阪市六軒を結ぶ街道で、伊勢参宮に奈良・大阪方面の人が向かう際に利用した。岡遺跡周辺には二本木宿など当時の名残をとどめている場所がいくつかある。



はじきなべ
土師器鍋 (第2次調査出土)



がきわん
瓦器椀 (第2次調査出土)



やまぢやわん
山茶椀 (第2次調査出土)



てっさい
鉄滓 (第2次調査出土)



じょうもん
縄文土器 (第1次調査出土)



せっき
石器とサヌカイト片 (第1次調査出土)

調査遺跡名 : おかいせき
岡遺跡

所在地 : みえけんつしはくさんちょうにほんぎ
三重県津市白山町二本木

原因事業名 : にほんぎぎょいでんせんどうろかいりょうじぎょう
(一) 二本木御衣田線道路改良事業

調査実施機関 : みえけんまいぞうぶんかざい
三重県埋蔵文化財センター 〒515-0325 三重県多気郡明和町竹川 503
TEL : 0596-52-1732 / FAX : 0596-52-7035
HP : <https://www.pref.mie.lg.jp/maibun/hp/>